



切な支援がなくなるようにしていきま
す。また、そのような子に寄り添った
学習・生活支援が有効であるため、学
校規模に応じたスクールアシスタント、
通級指導担当者、スクールサポーター
などを配置します。

教職員一人ひとりが、特別な支援を
要する子へ適切な支援を行ったり、障
がいの理解を深めたりするためにも、
研修を引き続き行います。

(2) ことも発達センターとの連携

本年度もことも発達センターの専門
職と教育委員会の専門家が、小学校区
ごとにチームを組み、各園・学校を巡
回訪問し、具体的な支援について助言
します。また、子どもの就学に不安を
もつ保護者には、ことも発達センター
と連携して、発達相談・教育相談を行
うことで、よりスムーズな就学につな
げていきます。

(3) 相談活動・学習支援の充実

「こころの相談員」の継続配置、子ど
もや保護者向けの相談体制の充実、ス
クールヘルパーの中学校への配置など、
学校不応適をおこなっている児童生徒の
学習支援や学校訪問などを行います。

(4) 外国人支援教育の充実

外国籍の子どもは、現在200人弱が
在籍しており、日本語教育が必要な子
が年々増加、多国籍化しています。通
訳者を3人配置し、通訳・翻訳、相談、
言語指導、進路相談など細やかな対応

を行うことで、日本の学校への適応を
図っていきます。

また、言語や生活習慣などに不慣れ
な外国籍の子を対象にした翼小学校の
「くすのき学級」での早期適応指導の取
組も成果を上げており、本年度も行い
ます。

4 安らぎと魅力のある 地域の学習拠点の確立

学校を「学びの拠点」とし、地域住民
が授業や学校行事などをとおして、子
どもたちと交流する場となるように努
めます。特に、生活科や総合学習な
どの高浜カリキュラムの実践や各種行
事においては、保護者・地域の方に積
極的に入っていただき、ともに活動し、
学ぶ機会となるような単元の設定や内
容にしていきます。

また、子どもたちが地域行事に参加
参画したりすることで、地域の方との
ふれあいを密にし、高浜市の文化を継
承、開発、発展させることができるよ
うな、「地域とともにある学校」をめざ
し、地域コーディネーターが中心となっ
て、学校と各種団体との調整をしてい
きます。

5 地域で子どもを育む 教育環境の整備

学校の教育活動について、保護者・
地域への説明責任を果たすために、学
校関係者評価を見直し、学校、家庭
地域がそれぞれできることを確認し、
協働するための学校づくり評価活動を
行います。

また、幼保小中が連携して教育を進
めていくために、小中間での計画的な
人事交流を進め、市内の教職員が、小
中学校のどちらでも勤務できるよう、
計画的に教員免許状が取得できる方策
を立てます。

6 市民の学び舎となる 教育環境の整備

高浜小学校を、多様な学習環境への
対応や地域での多目的活用ができ、防
災拠点となるように整備するための計
画を具体的に検討していきます。

また、子どもたちの安全確保・避難所
としての機能を確保するため、小中学校
の屋内運動場の吊り天井撤去などの改
修工事を順次進め、学校施設の老朽化
に伴う修繕は、学校の要望に応じた計
画的に予算化し速やかに実施します。

さらに、教育のICT化を見据え、
小学校パソコン教室のパソコンの入替
大型液晶モニター・タブレットなどの
導入を進め、子どもたちが授業に興味
をもち、積極的に授業に臨むことがで
きる環境づくりに取り組めます。